

# 暴力から子どもを守るスキルを学ぼう

キャップ

## CAPミニ講座 & おとなワークショップ

いじめ、誘拐、体罰、わいせつ事件、性暴力などが、連日のように報道されています。

「子どもたちを守るために、おとなは何ができるのかな？」

「子どもから相談されたら、どう対応すればいい？」

そんな心配や不安を、CAPプログラムで、安心と笑顔に変えてみませんか？



### CAP ミニ講座①

- <日時> 8月20日(火) 10:00~11:00
- <会場> ふれあいセンター久喜 第1・2会議室  
(久喜市青毛 753-1)
- <対象> 学校、保育園、幼稚園、支援センター、  
スポーツ団体など子どもに関わる方、  
地域の方、保護者のみなさんなど
- <内容> 小学生プログラム体験(知っている人か  
らの暴力についての劇)、CAPについて

### CAP ミニ講座②

- <日時> 10月3日(木) 10:00~11:00
- <会場> 久喜市栗橋コミュニティセンター  
くぶるホール(久喜市中里 1048-1)
- <対象> 未就学児の保護者のみなさん、CAPに関  
心のある方など
- <内容> 就学前プログラム体験(誘拐・知らない  
人からの暴力についての人形劇)、CAPに  
ついて

### CAP ミニ講座③

- <日時> 10月7日(月) 10:00~11:00
- <会場> 久喜市鷲宮総合支所 407・408 会議室  
(久喜市鷲宮 6-1-1)
- <対象> 小学生の保護者のみなさん、CAPに関心  
のある方など
- <内容> 小学生プログラム体験(いじめについて  
の劇)、CAPについて

### CAP ミニ講座④

- <日時> 10月9日(水) 10:00~11:00
- <会場> 久喜市清久コミュニティセンター・  
西公民館ホール(久喜市上清久 1489-2)
- <対象> 中高生の保護者のみなさん、CAPに関心  
のある方など
- <内容> 中学生プログラム体験(いじめについて  
の劇)、CAPについて

### CAP おとなワークショップ

- <日時> 11月15日(金) 10:00~12:00
- <会場> 久喜市鷲宮東コミュニティセンターさくら 1F 集会室(久喜市桜田 3-10-2)
- <対象> どなたでも
- <内容> 小学生プログラム体験(いじめの劇)、CAPについて、暴力や虐待・DVについての正しい知識、  
子どもに相談されたときの話の聴き方のコツ、暴力防止のためにおとなができることなど



<参加費> 無料

<申込> 電話、メール、またはくきCAPホームページから、事前にお申し込みください。

TEL:090-8104-7038(増田) メール:kuki\_cap@yahoo.co.jp

\*就学前のお子様は同席可能ですが、定員に限りがありますのでお問い合わせください。

<主催> くきCAP(ホームページ <https://kukicap.jimdo.com>)

<共催> 久喜市子ども未来課

<後援> 久喜市教育委員会

## CAPとは？

Child Assault Prevention という英語の頭文字をとったもので、「子どもへの暴力防止」という意味です。プログラムにはおとな向けと子ども向けがあり、参加体験型のワークショップという形式でおこないます。

「子どもワークショップ」では、大切な「安心」「自信」「自由」の3つの権利について伝え、劇への参加や話し合いを通じて、子どもたちは、暴力にあったときに、**NO（「いや」と言う）・GO（逃げる、その場を離れる）・TELL（誰かに話す）**という方法があることを学びます。

「おとなワークショップ」では、暴力や虐待についての正しい知識を学び、子どもを孤立させないよう、子どもの人権を尊重して、問題解決力を引き出すエンパワメントの支援のあり方を一緒に考えます。



## CAPプログラムはどんな風に実施されますか？

「子どもワークショップ」は、一度に大人数に向けてはできないなどの条件がいくつかありますが、**年齢や発達に応じた内容と実施時間で、子どもたちが怖がらず、楽しく安心して参加**できるよう配慮と工夫をしています。子どもワークショップを行うときには、必ず、先に、子どもたちの周りにおとなの方々（保護者、先生、地域の方々など）に、「おとなワークショップ」を行います。

子どもたちが暴力から自分の身を守るためには、子どもたちを支えるおとなが、必要な情報や知識を共有し、**子どもたちに伝えるための「ことば」**を学び、日々の生活で活用していくことがとても大切です。もし、子どもワークショップが実施できないときにも、おとなワークショップのみを実施することができます。

## CAP おとなワークショップに参加された方の感想

・被害者にも加害者にもなりうる今日ですので、子どもの権利などをしっかり意識し、これからの子育てで声かけや態度にも気を付けていきたいと思いました。



・子どもの安全と権利について知ることができてよかったです。叱るときも感情的にならずに落ち着いて子どもたちと向き合っていたと思いました。

・子どもたちに実際の場面を想定できるように、ロールプレイを取り入れているのは良いと思った。特に初期のいじめでは「いじめ」と思わず行動していることも多く、いじめる側にも必要なロールプレイだと思った。

・告げ口と相談の違いについて、相談し易い環境や状況を作るためにも、2つは違うということを子どもに説明し、理解してもらうことが大切だなと感じた。

・「やめて」と言えない、断ることができない子に対して、味方だよ、協力してあげたいんだよと熱心に伝えようと思う。また、そのサインに気付いてあげたい。



・「いや」「やめて」ということの重要さは理解していたが、「言えなくてもあなたが悪いんじゃない」と伝えていなかったため、今後は伝えていきたい。



《一部イラスト：チアキ（ぶるすあるは）》